

＼ 2017年度 /

思考力 入試ガイド

／ 学力伸長度ランキング 男子校全国1位 ／

(2013年 週刊東洋経済)



聖学院 中学校
高等学校

思考力入試とは

科目だけでは計れない**表現力**や **課題に取り組む姿勢**をみる入試です。

思考力入試では、決まった正解のある問題を出すのではなく、考えるためのテーマや情報を受験生に与えます。それをもとに自分なりの答えを導き出し、ブロックや文章で表現してもらいます。出題するテーマは、ある国の社会問題や、2つの国のある分野における違いなど、人によってさまざまな意見のあるものを取り扱います。

「思考力ものづくり」入試では、芸術性が問われるわけではありません。頭に思い浮かんだものがあったとしても、それを言葉で表現するのは難しいことです。しかし形に一旦置き換えれば整理しやすくなります。「ものづくり」は思考を取り立てる際の足掛かりとして使っています。二つの資料から発想を得る「思考力+計算力」入試でもそれは同じです。重要なのは「どう課題を見つけ出し、解決しようとしたのか」です。

ただ、そのためには問題文や社会問題、起きている事象の理解など「**国語**」「**算数**」「**理科**」「**社会**」の**力が必要です**。発想や表現力だけではなく、科目の力も問われる試験です。

問題を把握し解決する力は、学校生活においても、社会に出てからも非常に重要となります。決められた答えや過去の先例ではなく、状況や環境、流れに合わせた解決方法を見つけ、周囲とコミュニケーションを取り、協働しながら前進できる。聖学院ではそういう人物を育てていきたいと考え、実践しています。

また、小学生の段階では、能力はあるのに科目試験だけでは力を出し切れないというタイプの受験生もいます。思考力入試はそのような受験生にも光を当てるものと考えています。

選べる 2種の入試

●思考力入試概要

試験日 **2017年2月2日(木)** 午前(集合時間 8:15)

ブロックで考える 思考力ものづくり[1科]

設問に対する自分なりの答えを、ブロックを用いて表現します。あわせて、なぜそれを作ったのかを説明文にまとめます。問題の読解力や物事への探求心、表現力や伝える能力を計るとともに、「国語」「算数」「理科」「社会」の能力も評価します。

総合力で考える 思考力+計算力[2科]

「思考力」では、提示した2つの事象を比較し、感じたことやそれぞれの課題を文章でまとめます。ブロックは使いませんが、考え方や情報の取り出し方を評価する点は「思考力ものづくり」と同じです。「計算力」では、「算数」の基礎力を評価します。

募集人員	思考力ものづくり[1科] 15名 / 思考力+計算力[2科] 15名
出願期間	2017年1月20日(金)9:00~2月1日(水)16:00 本校HPから ●提出書類 提出書類の必要はありません。 ●出願方法 インターネット出願 ※本校所定の受験票及び受験票(学校控)に写真を貼付し試験日にご持参下さい。
試験科目	1科(思考力ものづくり) 思考力ものづくり 8:30~9:50 2科(思考力+計算力) 思考力 8:30~9:20 計算力 9:35~10:05
合格発表	当日17:00 インターネット発表・掲示発表 ※受験票提示の上、合格証と入学手続書類を事務所で受け取ってください。
入学手続き	2017年2月3・4日(9:00~17:00)、2月5日(9:00~15:00)
受験料	3回まで25,000円 ※追加は1回5,000円で受験可能。(カード決済またはコンビニ・ペイジー送金が選べます)

「思考力ものづくりテスト」は
こういう出題の
入試です

ブロックで解決方法を作る?!

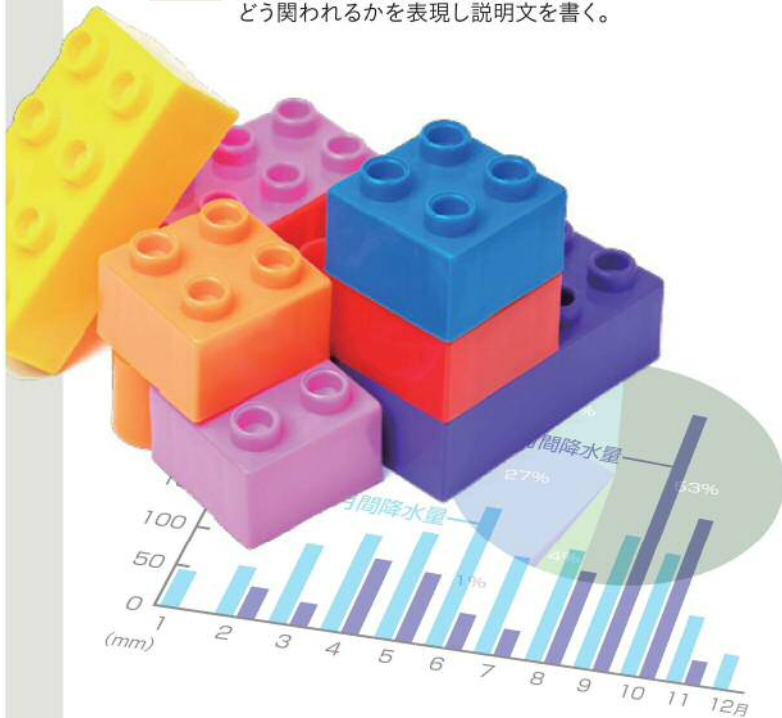
2016年の出題・解答例

ブロックの制作と説明文の両方から、受験生の能力を評価しました。各設問ではブロックで表現し、併せて150字程度の文章にまとめてもらいました。

設問1 自分の得意なことをブロックで表現し、説明文を書く。

設問2 ある国の気候、米の生産・輸入量、月別の降水量などの資料を元にその国の問題点を考え、解決策をブロックで表現。その説明文を書く。

設問3 上記2つの作品を合わせて自分がその解決策にどう関わられるかを表現し説明文を書く。



年間の降水量とお米のグラフから その国の課題を考える

ブロックと文章で解決方法を表現!

解答例①

課題は温暖化! 植林で解決!



着眼点が
素晴らしい!

降水量の変化は温暖化が原因なので、まずそれを防ぐことが最優先です。植林することで温暖化防止にも乾季の防砂林にもなります。

解答例②

雨季は大きい船で 国民全員、他国に引っ越す!



発想が
奇抜!

もっと住みやすい場所へ人々を運ぶための大型船を作って新天地へ脱出し、新しい場所でより良い暮らしを目指します!

ここが

ポイント

こんな方にオススメです!

色々なことに興味と疑問を持ち、自分なりの答えを求めて試行錯誤するチャレンジ精神のある児童を評価します。勉強においても、言われた通りにやるだけでなく、「どうして、この答えになるのだろうか?」と疑問を持ち、取り組む児童にオススメです。またこれまでに、勉強や遊びで何か一つでも、自分なりのこだわりを持って没頭した経験のある人は、思考力テストに向いているといえます。

対策と準備

本校の学校説明会で行う「思考力セミナー」[※]という約1時間のワークショップ型の授業を体験すると、試験の内容がよく理解できます。また、普段の生活の中で気になることを自分で調べ、考えを文章にまとめる訓練を行うとよいでしょう。他にも、絵を描いたり物を作ったりして、どういう理由でこの色を使い、形にしたのかななどを周囲の人に説明するのも対策になります。

※「思考力セミナー」の実施については裏面の学校説明会をご確認ください。

Q & A

Q1 試験の評価はどのように行いますか？



お答えします!
入試広報副部長
帰国生入試担当
数学科主任
本橋 真紀子

受験生一人の解答に対して5~6人の教員が採点に取り組みます。「表現力」「読解力」「ものづくり」「アイデア」「文章力」など、項目ごとに各教員が評価をしていき、意見の相違がある際はディスカッションを行い最終的な評価点を定めていきます。

Q2 「国語」「算数」「理科」「社会」の勉強は必要ないのですか？



お答えします!
技術科教諭
内田 真哉

「思考力入試」の試験を解くには、問題を読み解く「国語」の力、データを解析する「算数」の力、社会問題や自然法則の知識である「理科」・「社会」の力など、さまざま能力が必要になります。「自由な発想」や「ものづくり」は4科目の学力が土台となっているとも言えます。

Q3 試験中は時間をどのように使えばよいですか？



お答えします!
21教育企画部 部長
数学科教諭
児浦 良裕

最初に、すべての問題に目を通すのが良いでしょう。得意な問題や難しい問題に時間をかけすぎ、最後の問題に十分な時間をかけることのできない受験生を見かけます。試験時間を配分するためにも、どのような問題があるのかを最初に把握しておきましょう。

合格体験記 /



「思考力ものづくり」で受験 もりいづみ しょうき **森泉 柊貴くん** (中学1年生)

聖学院のホームページで思考力入試を知り、何かを作るのが好きだったので受験を決めました。実際受験してみると、資料を元に考えてブロックを作るというのは思ったより難しかったです。でも小学生の頃「説明文」を書くことが多かったので、文章にするところはそこで培った力が活かせました。僕の苦戦した経験から言うと「想像力」と「説明力」両方が重要だと思います。対策としては実際にブロックで何かを作って説明するというが一番の練習になるのではないのでしょうか。



「思考力+計算力」で受験 いどうひろき **伊藤 弘樹くん** (中学1年生)

「思考力」と聞いて思い浮かんだのが頭の柔軟性だったので、事前準備として「間違い探し」を数多くやりました。試験は写真を見て気づいたことや違いを答える問題だったのですが、対策がいきで解答欄にたくさん回答を書くことができました。そのことはとても達成感があり、そこも評価されたのだと思います。頭の柔軟性は入学後の授業でも生きています。数学の難しい文章題を解くときは「発想」が必要なのですが、早く気づけることが多く、そのため解答まで短時間でたどり着けています。

●学校説明会

- 6/11(土) 第1回学校説明会【一般・帰国】 **思考力セミナーあり**
- 7/1(金) プレミアム説明会
- 7/20(水) 帰国生ミニ説明会
- 9/2(金) イブニング説明会
- 9/17(土) 第2回学校説明会【授業体験・クラブ体験】 **思考力セミナーあり**
- 10/22(土) 第3回学校説明会【一般・帰国】 **思考力セミナーあり**
- 11/2(水) 創立記念祭【個別相談ブース】
- 11/3(木・祝) 創立記念祭【個別相談ブース】
- 11/26(土) 第4回学校説明会【授業体験・入試過去問体験】 **思考力セミナーあり**
- 12/6(火) プレミアム説明会
- 12/23(金・祝) 第5回学校説明会【入試過去問体験】 **思考力セミナーあり**
- 1/14(土) 第6回学校説明会 **思考力セミナーあり**

※各説明会によって時間帯が異なりますので、詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ先 入試広報部
Tel 03-3917-1121

<http://www.seig-boys.org/>
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
Fax 03-3917-1438